

平成17年9月28日

周南市長 河村和登様

周南市鹿野地区地域審議会  
会長 原勝己

鹿野地区の緊急の課題について（建議）

平成15年の新市誕生後2年半の歳月が流れようとしています。

市当局におかれましては、「私たちが輝く元気発信都市 周南」の創造にむけ諸施策を推進されておられますことに厚く感謝致しております。

さて、本審議会は、年度当初より周南市まちづくり総合計画の基本理念である「市民の視点」に立ち「行政との協働」による「地域の特性を生かした」まちづくりの推進を念頭におき、鹿野の地域における緊要な課題について審議を深めてきたところであります。

この度、その一部について委員の総意により、地域審議会の設置に関する協議書第3条第2項の規定に基づき、下記事項について建議致します。

何卒、事情ご賢察のうえ特段のご配慮をお願い致します。

記

建議事項

医療・保健・福祉機能の充実強化について

## 医療・保健・福祉機能の充実強化についての建議

鹿野地区地域審議会では、今年度のはじめより鹿野の地域で急激に進行している少子、高齢化のなかでの、「医療・保健・福祉」について行政関係者や地域の関係者のご協力をいただきながら、検討会を重ねてきました。

その結果、地域における実情をふまえた問題点を整理してみました。

「医療・保健・福祉」に関する分野は広範かつ多岐にわたっています。医療に関しては公的機関である国保診療所、民間病院。保健に関しては保健師は総合支所に所属。福祉に関しては総合支所、社会福祉協議会でそれぞれ対応しているなど各機関が地域内に散在しているため、関連する用件にもかかわらず住民は複数の窓口を訪れなくてはならないなど負担は多く、なかでも交通手段が限られている高齢者、障害者等にとっては大きな負担となっています。

また、関連する各機関の情報の共有化や連携体制は、効果的かつ効率的とは言い難い状況にあります。

今後、鹿野の地域は言うに及ばず近隣の中山間地域でも急激な過疎化と高齢化が進行していくと想定されるなかで、医療・保健・福祉機能の充実強化は早急に対応しなければならない、最も重要な課題となっています。

このような地域の実情と課題を考えると、医療・保健・福祉対策における窓口の一本化や各機関の連携強化、集約化が望まれ、また組織や支援する諸団体のネットワークの整備が重要であります。

現在鹿野の地域におきましては、一体的な地域づくりのためのコミュニティ組織の設立や福祉サービスの充実をめざした鹿野地区社会福祉協議会（地区社協）の設立協議がすすめられており、これらの活動拠点も必要となってきております。

こうした背景のなかで、新市誕生を契機に策定された新市建設計画における「21のリーディングプロジェクト」のなかでの複合施設の整備事業においては、これらの機能が十分に果たされ、課題が達成できる周南市北部地域の医療・保健・福祉の中核的施設として位置付けられ、早期実現にむけ平成18年度の重要施策として取り扱われるよう建議致します。